

令和6年度 社会福祉法人あぶくま福祉会

生活介護事業所 だての郷事業報告

1. 概 要

法人の基本方針と理念に基づき、利用者の個性や人格を尊重し、個人の特性に応じた利用者主体の支援に努めサービスを行ってきた。利用者の日中活動の場として、個々が豊かで活力のある生活ができるように努めた。障がいの重い利用者が多い現状を踏まえ、日中活動の支援体制を2班に分け、班ごとに主担当、副担当の職員を配置し、活動内容によっては更に小グループに分けて、支援を行なうことでサービスの充実に努めた。日常生活に関しは、感染症の予防対策をするとともに、保護者との連絡を密に個別面談により利用者の状態や様子を確認し、支援内容を工夫した。

また、各市町や医療機関、福祉関係機関との連携をとりながら、利用者の安全を最優先に支援を行った。さらに、地域生活支援事業として、平日朝夕の預かりや休日の支援等、家族の要望に応じた福祉サービスにも積極的に取り組んだ。

2. 利用者の状況 (令和7年3月31日現在) 定員30名 契約者数27名

利用者内訳 男19名 女8名 合計27名

市町村	男	女	合計
伊達市	10名	3名	13名
桑折町	3名	3名	6名
国見町	2名	1名	3名
福島市	3名	1名	4名
川俣町	1名		1名
合 計	19名	8名	27名

年齢/性別	男	女	合 計
20歳未満	—	—	0名
20歳代	2名	0名	2名
30歳代	2名	2名	4名
40歳代	14名	5名	19名
50歳代	1名	1名	2名
60歳以上			
合 計	19名	8名	27名
平均年齢	42.3歳	42.6歳	42.4歳

障がい支援区分			
区分3	区分4	区分5	区分6
1名	6名	9名	11名

サービス利用時間		
3時間未満	6時間	7時間
1名	20名	6名

3. 職員の状況

施設長(兼サービス管理責任者)1名 支援員15名(正職員2名 無期職員1名 兼務正職員1名 嘱託・臨時5名 パート4名 シルバー2名)、事務員1名(兼務) 看護師1名(嘱託)、嘱託医1名

4. 主な事業の実施状況

(1) 支援事業の実施

利用者個々の特性や意思を尊重し、日常生活や社会生活に適応できるような支援

を心がけた。具体的内容は、毎日の歩行やラジオ体操、軽作業である部品の解体や分別等を通して機能の維持回復を図りながら社会との繋がりを保ち、余暇では音楽やビデオ鑑賞、読書、パズル、塗り絵、工作等により、穏やかな気持ちで過ごせるように努めた。また、その時々の行事は、今年度も人混みを避けるなど感染対策を行ないながら実施した。ミニドライブは、行先やルートを季節の変化を感じることでできるコースを設定した。にこにこフェスティバルはスポーツ・レク要素を盛りこんでの開催、グループ活動は行先を海か山かを選択し少人数で出かける、放送局を見学する社会体験会など、行事内容を季節に合わせて工夫した。

(2) 利用者出勤状況

開所日数	247日	(前年度251日)
平均利用日数	211日	(前年度223日)
年間出勤率	85.5%	(前年度86.2%)

(3) 地域生活支援事業の実施

地域福祉サービスとして、平日夕方の預り延長や土曜日の日中一時支援事業を行なった。また、サービス内容が保護者の要望に沿えるように、質の向上を図り、利用者が安心して過ごせるよう支援した。

「日中一時支援事業利用者数」

年間開所日数(平日)	251日	(前年度240日)
(内第2第4土曜日)	16日	(前年度15日)
年間延べ利用者数	1,177人	(前年度1,171人)
1日当たりの利用者数	4.6人	(前年度4.6人)

(4) 健康及び安全対策

利用者の健康を守るため、定期健康診断や内科検診、毎月の血圧や体重チェックの実施、コロナやインフルエンザ感染予防として、日々の手洗い、消毒、うがい、マスク着用、検温、みだしなみ教室等により健康や衛生管理に努めた。施設の生活では、毎日の歩行とラジオ体操、月1回ダンス教室を行い、体力の維持と健康増進に努めた。

また、日々の連絡帳により家庭との連絡を密にし、その時々健康状態や衛生管理に気を配った。

給食は業務委託のより施設内で調理・提供し、バランスが取れた献立で、定期的に体重測定と残食状況を確認し健康の維持に努めた。

安全対策について、交通安全教室をビデオ上映による公道歩行・道路横断時の注意啓発を実施。合同防災訓練では、伊達消防署の協力で起震車による大地震の揺れを実際に体験し身の守り方を学んだ。

施設内の安全管理については、施設内外それぞれの場所の点検管理を職員が分担し、日々の点検から安全確保、環境整備を行っている。また、毎月、起こりうる災害を想定しての避難訓練を行った。

(5) 感染症予防対策

新型コロナやインフルエンザ等の感染症の予防対策を従来と変わらず行っていた

が、12月に入り新型コロナ感染症が、利用者と職員、その家族へ感染が拡大し一週間の休業を余儀なくされた。施設再開にあたり、改めて適切なマスク着用とこまめな手洗い手指消毒の注意喚起を行った。

(6) 職員研修

主な外部研修として、強度行動障害基礎研修、サビ管研修、経営協青年会セミナー研修。施設内研修として、福島虐待防止センターから講師を招き、虐待防止と人権擁護の研修会を開催し、職員の資質向上に努めた。

(7) 公益的な取り組み

中瀬町町内会に加入し、地域住民との交流をもち、公益的な取り組みとして町内会活動に参加し、路肩周辺の草刈、集会所の清掃を行った。また、歩行時に休憩にしている神社や公園のゴミ拾いを行った。

5. 令和6年度に行った主な行事・事業等

月	主な行事・事業等
4月	23日JAから苺贈呈 23日～26日春の歩こう会
5月	17日保護者会役員会 17日サツマイモ苗植え、24日保護者会総会 26日サツマイモ植え、22日にこにこフェスティバル(FD、ボッチャ等)
6月	個別面談7日～7月17日、24日～28日外食体験
7月	12日JAから桃贈呈、12日保護者会役員会、19日創立記念日ジェラートのつどい、27日JAから桃贈呈
8月	23日避難訓練(洪水想定) 24日障がい者スポーツ教室 26日～30日社会体験会(こむこむNHK福島見学)、30日合同保護者役員会
9月	19日合同保護者会、26日から10月4日グループ活動(米沢・相馬方面、選択)、27日交通安全教室、30日健康診断
10月	5日保護者奉仕作業、21日サツマイモ収穫、23日みだしなみ教室 27日あぶくま祭
11月	6日秋の歩こう会、8日から9日伊達市福祉作品展参加(作品出展) 15日合同防災訓練(起震車体験)、22日人権擁護、虐待防止研修会
12月	4日焼きいも体験会、7日伊達市社協クリスマス会、
1月	5日初詣 10日新年と二十歳を祝う会、
2月	3日節分の豆まき すし竹から寿司贈呈 19日にこにこフェスティバル(ゲーム大会)
3月	7日みだしなみ教室 10日内科健診 26日合同保護者役員会
毎月	報奨金支給 誕生会 避難訓練 ダンス教室 ジュース購入 ミニドライブ 広報紙「だての郷通信ひびき」発行 職員会議(毎週木曜日) ホームページ更新
毎日	朝の会 歩行 給食提供 ラジオ体操 帰りの会 送迎